

池田こうじ

区政報告

第2号 2009年3月29日発行



ケアマネージャーや特別養護老人ホーム施設長など、高齢者福祉の最前線に従事していた私が、港区議会に飛び込んで2年が経ちました。

その間、「健康と福祉、スポーツ」を大きなテーマとし、様々な課題に取り組んで参りました。

今回の「池田こうじ区政報告」は、任期の折り返しを節目とし、これまでの主な発言や成果などをご報告することと致しました。あわせて、平成21年度予算についても予算委員会での発言を含めご報告致します。

池田こうじ **検索** で是非ご覧下さい。ブログ更新中！

平成21年度予算が決まりました

自民党議員団の「緊急経済対策の要望」などを受け、前年比約20%増（予算総額は約1674億円）の積極予算となる平成21年度予算が決まりました。この予算は、「厳しい社会経済情勢下において、これまで蓄えてきた財政の力を活用し、緊急経済対策や未来を担う子どもたちのための区有施設の改築など、区民福祉の向上を積極的に推進する予算として編成したい」という港区長の強い意欲が反映されたものと評価をしております。「平成21年度予算特別委員会」では、本予算を踏まえ、無駄がないか厳しくチェックしながらも、今後のビジョン等について質疑を行いました。

質問項目

詳細答弁は後日、港区議会のホームページに掲載予定

- ◎ 高層マンションの被災生活における電力と飲料水の確保について
- ◎ 青南小学校など、狭い校庭の拡張について
- ◎ ちいばすの子供料金設定の調査について
- ◎ 六本木の安全なまちづくりについて
- ◎ デイサービスセンターへの支援要望について 等

2年間の発言と成果

高齢者介護における通院支援サービスについて

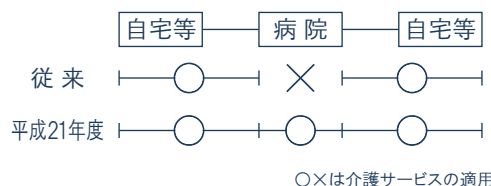
質問

区長に配慮を願いたいのは要介護者の通院の付き添いについてです。病院の入り口までは介護保険サービスが適用されるものの、病院の中は病院の介助があるという前提に立ち、現在、病院の中でのケアは介護保険サービスの適用を受けられません。港区の病院の中は、待ち時間も長く、お金を払ったり、薬をもらったり、多くの身体的負担を要介護者に強います。港区は大病院も多く、病院内で介助を受けられる環境にはなく、利用者は自費でヘルパーに付き添いをお願いしている実態が多く見受けられます。港区としても実態把握の上、この点は補完事業として、保険者としての責務を担っていいのではないのでしょうか。

(平成20年第4回定例会代表質問)

平成21年度中に実施

<通院支援サービス概念図>



介護従事者のメンタルヘルスについて

質問

介護業界に入る若者は、ハードな仕事だけに、大志を抱いて飛び込んできます。理想が高いために自分にも厳しいところがあります。学校で習ってきたこととのギャップもあります。頭で覚えた介護技術が現場で通用するとも限りません。優しくしても受け入れてくれないし、大好きだったおばあちゃんがある日突然冷たくなっていたりする経験も続きます。そういった精神的ストレスがたまりにたまり、思わぬ事故を引き起こしたりします。事故を起こさずとも精神的ストレスを抱え、自分に自信をなくして、この業界からいなくなってしまう若者も多くいます。奉仕の精神をほうふつとさせて福祉業界に飛び込んできた若者たちの思いをくじくのは、本当に惜しいことだと思います。小さな事業者がこのようなケアを専門的に行うのは難しい側面があります。港区としても介護事業者のメンタルケアサポートをして頂きたいと思いますが、どうでしょうか。

(平成20年第4回定例会代表質問)

平成21年より介護従事者メンタルヘルス事業実施

裏面に続く

昭和39年生まれ。平成19年4月、港区議会議員初当選。保健福祉常任委員、行財政等特別委員会副委員長。自由民主党東京港区第二十一支部支部長。

【職歴】サラリーマンを経て特別養護老人ホーム園長、ケアマネージャーなど福祉現場に従事。港区介護サービス事業者協議会会長、社会福祉法人鈴の音会（特別養護老人ホームベル運営）監事なども歴任。

池田こうじプロフィール

【その他】麻布消防団員、麻ノ葉町会副会長、今井町親睦会渉外部長、六本木市西町会会員。自由民主党政経塾卒業。龍和会会員。

【学歴等】港区立青南小学校、港区立六本木中学校（旧三河台中学）、都立小山台高校、明治学院大学経済学部中退、同志社大学文学部哲学及び倫理学専攻卒業、慶應義塾大学院健康マネジメント研究科修士課程（スポーツマネジメント）修了。慶応大学院健康マネジメント研究科三田会会長。都立小山台高校菊桜会幹事。

池田こうじ 区政報告

港区議会自民党控室 港区芝公園1-5-25
Eメール info@ikedas55.com
PC版HP http://www.ikedas55.com
携帯版HP http://www.ikedas55.com/i



2年間の発言と成果

介護は家族の問題でもあると指摘

質問

介護はサービスを受ける利用者本人の問題でもあります。家族の問題でもあります。本年度実施予定の保健福祉基礎調査においては、介護者である家族の負担感などの意見や要望を十分に uptake、次期介護保険事業計画へ反映して頂きたく要望致します。
(平成19年第3回定例会一般質問)



平成21年度より「介護家族の会」を地域単位で設立するよう港区が支援

介護事業者ネットワークについて

質問

高齢者の在宅の現場では、お年寄りからすれば一つの介護を受けているということですが、実は事業者はいろいろな事業者が入っているわけです。訪問介護が入ったり、訪問医療が入ったり、福祉用具の業者、訪問入浴といろいろな別々の会社が入っているわけです。そういった会社のネットワークとか連携なしでは、円滑な介護サービスの提供ができないというふうに思っておりますし、介護事業者のネットワークは、様々なメリットがありますので、前回も質問致しましたが、ぜひとも検討頂きたいと思っております。
(平成19年度決算特別委員会)



平成21年度より設置予定

出産費用助成制度について

質問

港区内の産婦人科の出産費用は、都心にあることで、他区に比して高額で、加えて育児を取り巻く環境や産科の減少などもあり、港区のこの制度のさらなる充実を図るべきだと思いますが、いかがでしょうか。
(平成20年第4回定例会代表質問)



平成21年度より53万円を60万円に増額

消防団の支援について

質問

消防団の待機場所確保についてサポートをしていただ



きたい。歩道上などでの訓練を余儀なくされている一部分団の訓練場所についても改善に向けてのサポートをして頂きたい。
(平成19年第3回定例会一般質問)

答弁

今後とも各総合支所と支援部が連携し、消防団の活動を支援して参ります。

麻布区民総合センター構想について

質問

麻布地区にはない健康増進施設や、あと特徴的な音楽だとか、子育て支援機能だとか、場合には支所機能もそちらに移転するなど、区民がここに来ればすべてのサービスが受けられるような、麻布区民総合センターというようなものがあるといいのではないかと。
(平成19年度決算特別委員会)

答弁

情報を収集して、庁内で検討をする。

麻布総合支所 空スペース活用について

質問

麻布総合支所において、平成23年度に生活衛生センターが移転をします。それを何か区民のサービスに寄与するものにぜひ活用していただきたい。
(平成19年度決算特別委員会)

答弁

地域のご要望を十分に踏まえた上で、港区全体の施設要望も考え合わせ、総合的に検討していく。

芝浦運河の水質改善について

質問

湾岸部の人口急増に伴い、水質の問題は以前とは比較にならないくらい顕在化し、地域住民の生活にもよくない影響を与えている状況にあります。港区は、地域住民に一番身近な行政です。水辺の問題は業務が複雑ですが、区は地域の声を軸とし、その改善に当たり、できることは何か考えなくてはなりません。水質改善を含めた東京都への要望書を平成11年に提出したと聞いていますが、人口急増が著しく、居住環境の向上が必要とされる今こそ、改めて地域として早急に水質の改善を促進する訴えを起こす時期に来ているのではないのでしょうか。
(平成20年第4回定例会代表質問)

答弁

区の河川、運河等の水質は、近年改善されつつありますが、古川の水質環境が環境基準値をクリアしているのに対して、運河及び海域では有機物による水質汚濁の度合いを示すCODで環境基準を達成できておりません。東京都では、合流式下水道の改善や運河のしゅんせつなどの浄化対策を実施しております。区と致しましては、水質を定期的に監視し、事業所の排水指導に努めるとともに、独自に実施できる浄化対策につきましても研究して参ります。

芝浦港南地域の運河網は、まちの骨格を形成し、区民の貴重な水辺空間となっております。運河の水質改善につきましては、東京都の港湾局や下水道局、環境局における横断的な取り組みが必要で、水質改善のさらなる促進を改めて関係部局に要望して参ります。

都心の公立学校校庭の芝生化について

区立学校の芝生化について天然芝と人工芝のメリット・デメリットを詳細に挙げ、区の見解を問いました。
(平成20年度予算特別委員会)

答弁

今後、人工芝による校庭改修も視野に入れて具体的に検討して参りたいと考えております。



麻布小学校で港区初の全面人工芝校庭実現

TOPICS

★大学院では地域スポーツ振興について研究をしていました。港区内でも色々な地域スポーツ振興プロジェクトのコーディネートをしています。港区教育委員会の後援、骨髄移植推進財団と共に阪神タイガースの藤川球児選手らにお越しいただき、区立青南小学校で、参加者と共に勉強会も行う「骨髄バンク野球教室」を開催しました。また昨年は港区軟式野球連盟と協力して、楽天の山崎選手らと共に半年間に渡り、野球教室を開催しました。子どもたちのきらきら輝く瞳が印象的でした。



★自民党議員団の新人は6人。「新しい風を作ろう!勉強を誰よりもしよう!」当選以来、毎月、勉強会をしてきました。自民党新人議員の会「自民いくいの会」の幹事として同僚議員ともども熱く燃えて港区の未来を語り合っています。

★会員の減少に悩む町会も少なくありません。私も立ち上げには関わらせて頂きましたが、同じ悩みを抱える麻布地区の二町会は共同で行事や掃除を行っています。ひとつの町会で出来ないことも、ふたつになれば出来る。これからの町会のひとつのあり方を示していると思います。

★広島市役所、広島原爆ドームに行ってきました。広島市の平和推進課長と懇談。思わず涙。現在の平和は、先人のさまざまな礎の上にあります。港区も平和都市宣言をしていますが、港区の平和事業にも注視と提言をしていきます。

